

**GMO** CLOUD

証券コード 3788

2019年 第2四半期  
**決算説明資料**

# 免責事項

- 本資料の内容は、作成日時点において、一般的に認識されている経済・社会等の情勢ならびに当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。
- 本資料およびその記載内容について、当社の書面による事前の同意なしに、第三者がその他の目的で公開または利用することはできません。

1. GMOクラウド会社概要
2. 2019年 第2四半期決算概要
3. 事業概況
  - クラウド・ホスティング事業
  - セキュリティ事業
  - ソリューション事業

# 1. GMOクラウド会社概要

# GMOクラウド会社概要

会社名	GMOクラウド株式会社
証券コード	3788（東証一部）
設立	1997年 5 月 株式会社アイル
事業内容	総合インターネットサービスの提供
主力事業	クラウド・ホスティング事業（クラウド、ホスティングサービス） セキュリティ事業（電子認証、企業向けID・パスワード管理サービス） ソリューション事業（IoT関連、O2Oアプリ、電子契約、ネットワークエン ジン、車両遠隔診断）
親会社	GMOインターネット株式会社（東証一部：9449）被持株比率51.8%※ * 2001年5月 GMOインターネットグループへ参加
子会社	15社 連結13社(国内6社、海外7社) 非連結2社（2019年6月末現在）
従業員数	連結 939名（2019年6月末現在）

※当第2四半期決算説明資料より、被持株比率は自己株式を控除して算定しております。

## GMOクラウドの事業領域

### ● インターネットの安全を支える

クラウド・ホスティング事業

- 安全なクラウド基盤の提供

セキュリティ事業

- 電子認証により、通信（取引）を守る
- ID管理により、利用者の入り口を守る

### ● 企業のクラウド利用を支える・便利にする

ソリューション事業

- 「IoT関連」「O2Oアプリ」「電子契約」  
「ネットワークエンジン」「車両遠隔診断」

## 2. 2019年 第2四半期決算概要

# セグメント別トピックス ハイライト

## クラウド・ホスティング事業

- マネージドサービス「CloudCREW」を開始
- NHN JAPAN社より一部ホスティングサービスを分割承継

## セキュリティ事業

- SSLサーバ証明書の国内市場においてシェア50%を突破
- 「トラスト・ログイン byGMO」新モバイルアプリをリリース

## ソリューション事業

- 「Diversity Insight for Retail byGMO」のAI分析によりスーパーマーケットの立寄率を見える化
- 「GMO電子契約サービスAgree」対応言語を追加し海外展開を開始さらに業務の完全電子化を促進するための新機能を順次追加



# 2019年 第2四半期連結決算概要[累計比較]

単位 百万円	2018年Q2実績	2019年Q2実績	前年同期比
売上高	6,240	<b>6,462</b>	+3.6%
営業利益	701	<b>747</b>	+6.5%
親会社帰属利益	524	<b>632</b>	+20.6%
EBITDA※	762	<b>802</b>	+5.3%

※EBITDA: 営業利益 + 販売管理費償却費 + のれん償却費

## 押し上げ要因

- セキュリティ事業が連結業績を牽引し、増収増益を達成
- クラウド・ホスティング事業のコスト最適化による原価削減効果

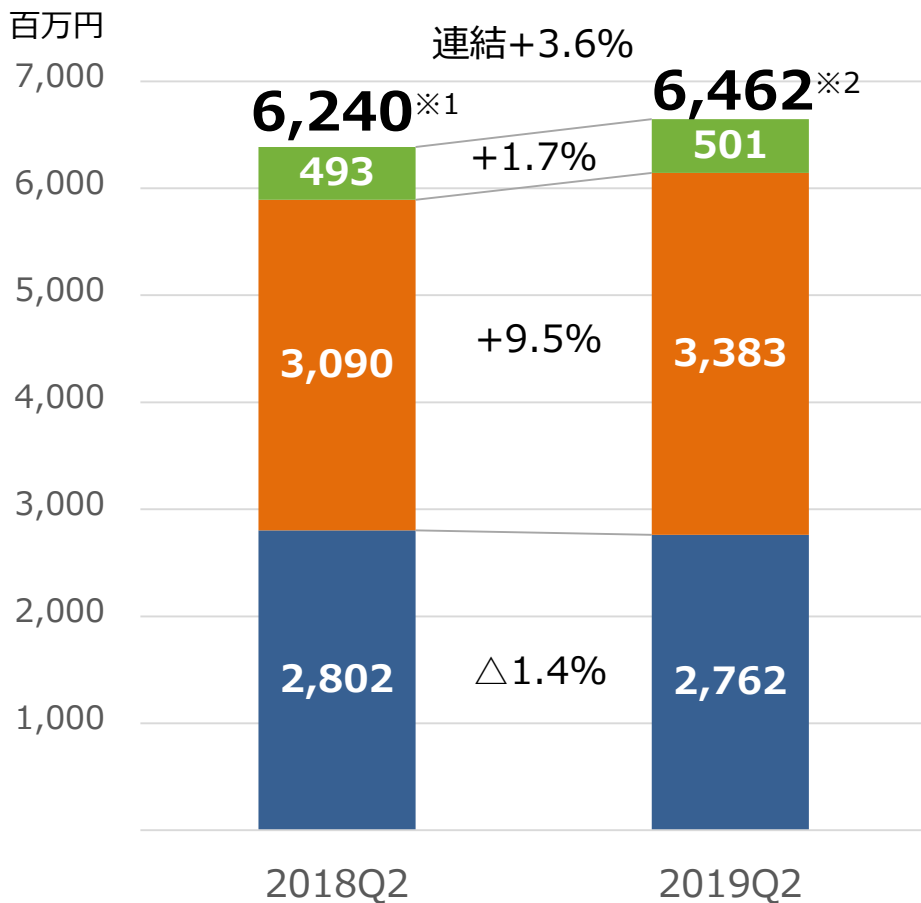
## 押し下げ要因

- 為替の影響によりセキュリティ事業の売上高にマイナス影響
- セキュリティ事業、ソリューション事業の新規事業関連費（人件費／ソフトウェア費）が増加

# 2019年 第2四半期連結決算概要[累計比較]

## — セグメント別売上高（セグメント間取引控除前） —

■ クラウド・ホスティング   ■ セキュリティ   ■ ソリューション



※1 調整額としてセグメント間取引消去 146百万円

※2 調整額としてセグメント間取引消去 185百万円

### クラウド・ホスティング事業

- クラウドサービスは増収、従来のホスティングサービスは減収傾向が継続

### セキュリティ事業

- 国内および海外市場ともに堅調に成長が継続し増収
- エンタープライズ向け販売が好調に推移

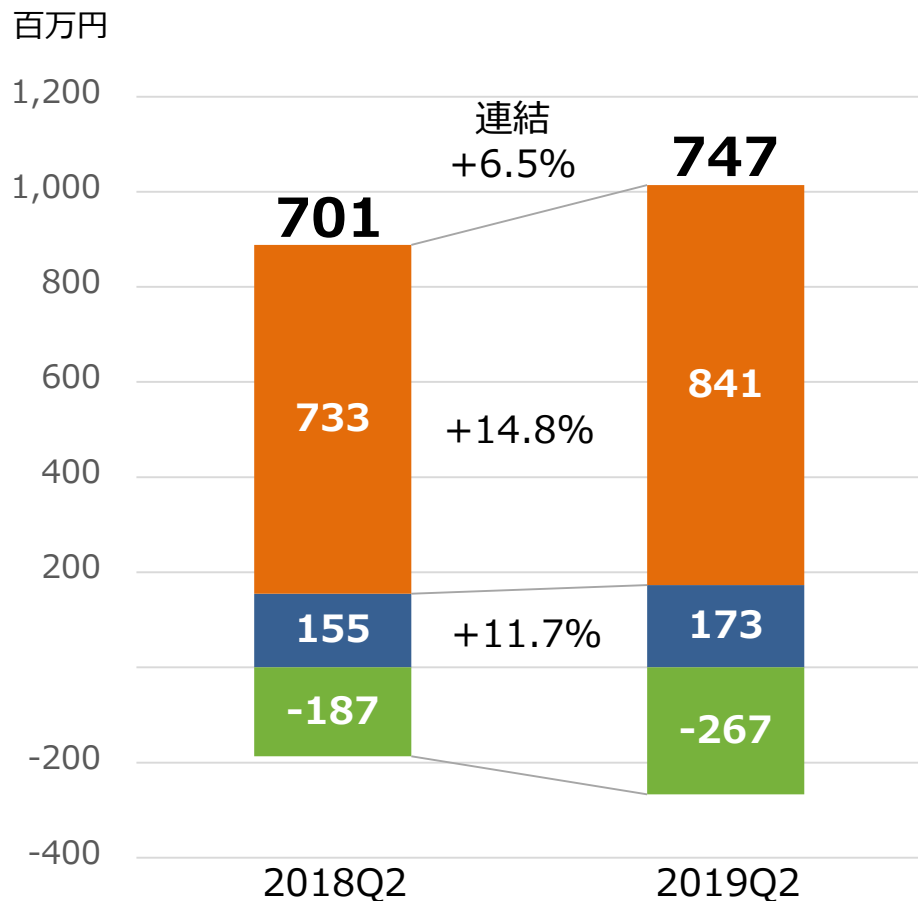
### ソリューション事業

- 電子契約サービスAgreeが顧客数増加に伴い締結数も伸張し増収

# 2019年 第2四半期連結決算概要[累計比較]

## セグメント別営業利益 (セグメント間取引控除前)

■ クラウド・ホスティング ■ セキュリティ ■ ソリューション



### クラウド・ホスティング事業

- 継続して行っているサービス統廃合等のコスト最適化により増益

### セキュリティ事業

- 売上成長により積極的な新規投資に伴い増加した費用（人件費/ソフトウェア費）を吸収

### ソリューション事業

- AI・IoT事業への投資継続およびカークラウド事業の新規サービスにかかる費用増加で営業利益減少

## 2019年 第2四半期連結決算概要[四半期比較]

- 売上高は1 Q比で微増
- 新規サービスおよびAI・IoT事業への投資継続による原価・販売管理費の増加により減益

単位： 百万円	2018年 2 Q	2018年 3 Q	2018年 4 Q	2019年 1 Q	2019年 2 Q	前四半期比
<b>売上高</b>	3,133	3,213	3,284	3,222	3,239	+0.5%
<b>営業利益</b>	340	375	331	395	351	△11.2%
<b>経常利益</b>	385	427	325	396	357	△9.8%
<b>親会社 帰属利益</b>	293	301	130	326	306	△6.1%

## 2019年 第2四半期セグメント情報 [四半期比較]

- クラウド・ホスティング事業およびソリューション事業は、新規サービス等による費用（人件費／営業費／ソフトウェア費）が増加
- セキュリティ事業は、為替の影響があったものの、国内およびアジアを中心とした海外市場ともに順調に推移し増収増益を継続

売上高			百万円	営業利益			百万円
セグメント	2018年 2Q	2019年 2Q	前年 同期比	セグメント	2018年 2Q	2019年 2Q	前年 同期比
クラウド・ホスティング	1,390	1,392	+ 0.2%	クラウド・ホスティング	86	72	△16.3%
セキュリティ	1,570	1,685	+ 7.4%	セキュリティ	369	415	+12.4%
ソリューション	241	253	+ 5.0%	ソリューション	△114	△136	-
消去又は 全社	△68	△91	-	消去又は 全社	0	0	-
連結計	3,133	3,239	+ 3.4%	連結計	340	351	+3.2%

# 連結貸借対照表

単位：百万円	2018年12月末	2019年6月末	増減率
流動資産	6,505	6,337	△2.6%
(現金預金)	4,356	4,104	△5.8%
(売掛金)	1,439	1,459	+1.4%
固定資産	2,618	2,788	+6.5%
(ソフトウェア)	677	856	+26.4%
(のれん)	-	-	-
(投資有価証券)	504	518	+2.8%
(関係会社株式)	57	57	-
資産合計	9,124	9,125	+0.0%
負債	3,291	3,197	△2.9%
(前受金)	1,528	1,595	+4.4%
(借入＋リース債務)	385	341	△11.5%
純資産	5,832	5,928	+1.7%
(株主資本)	5,609	5,763	+2.8%
(その他包括利益累計)	195	133	△31.6%
(非支配株主持分)	27	31	+13.7%
負債・純資産合計	9,124	9,125	+0.0%

## 主な資産増減要因

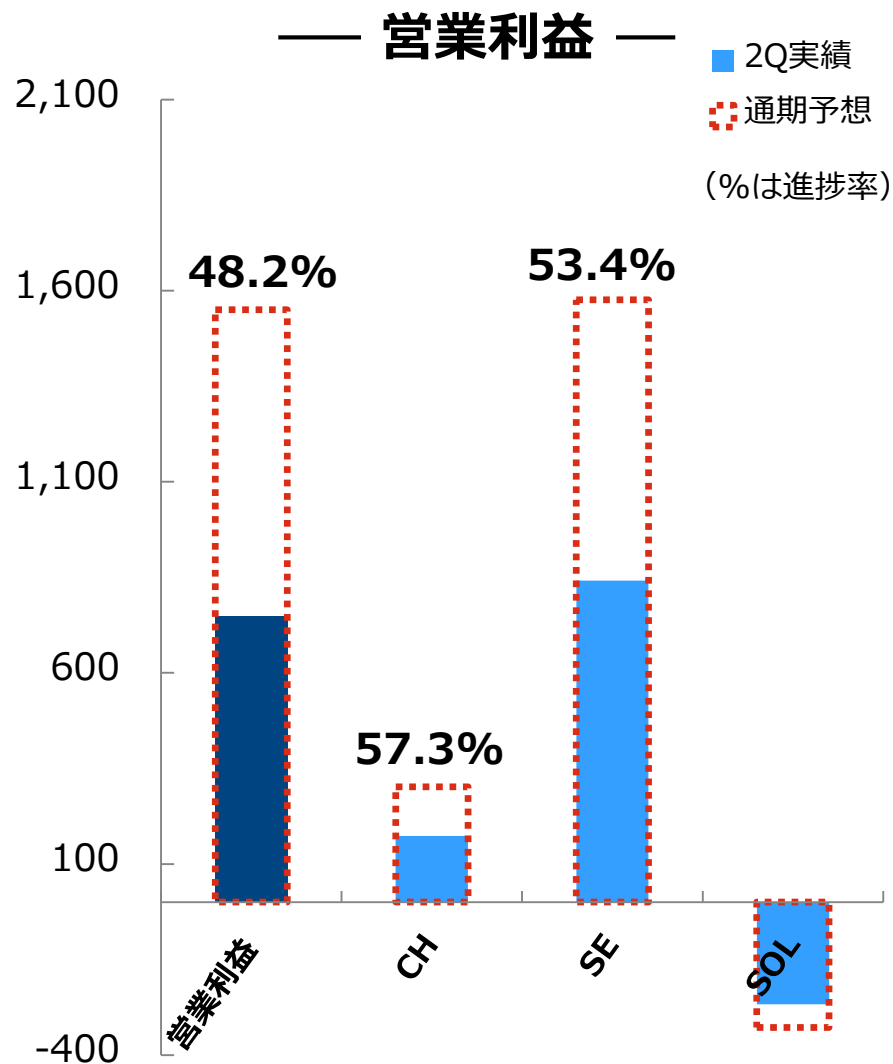
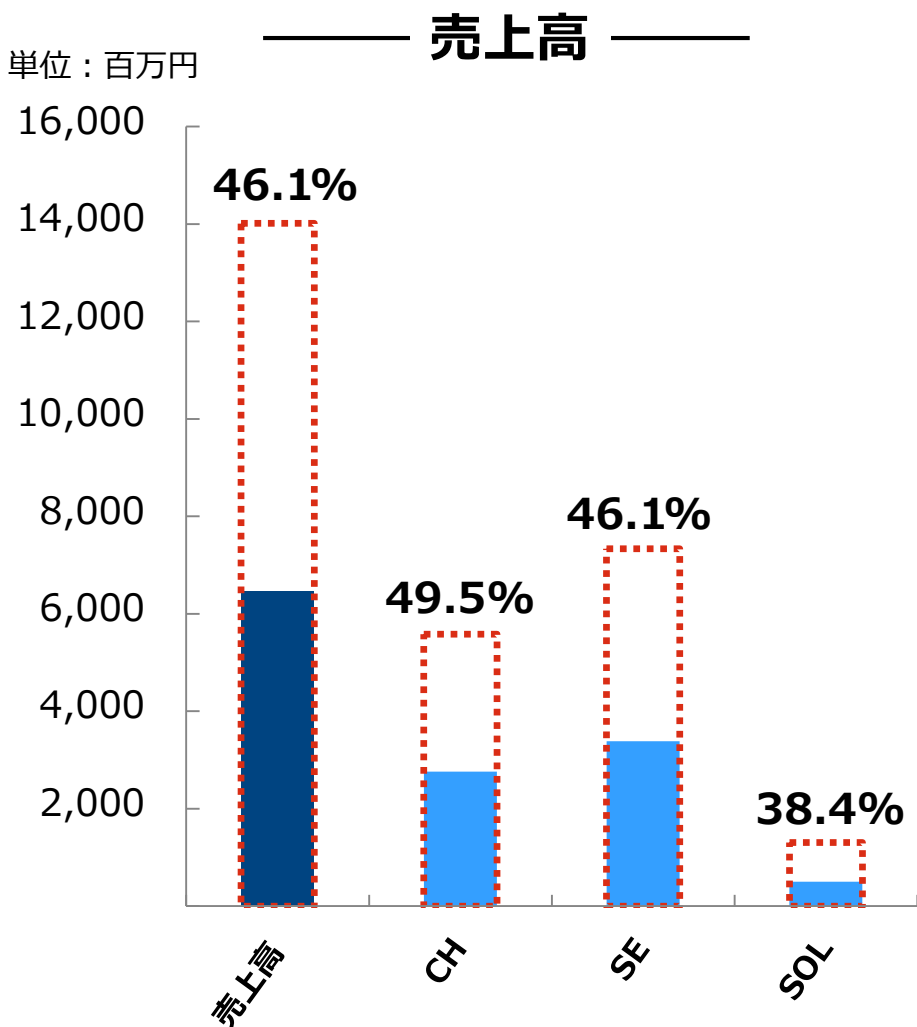
- 現預金  
△252百万円  
⇒配当金支払による
- ソフトウェア  
+179百万円

## 主な負債増減要因

- 買掛金  
△105百万円
- 預り金  
+32百万円
- 賞与引当金  
△47百万円

# 2019年 業績予実比較

単位：百万円



CH:クラウド・ホスティング事業 SE:セキュリティ事業 SOL:ソリューション事業

## 2019年 通期業績予想

- IoT事業への新規事業投資の継続により費用増加を見込むが、セキュリティ事業続伸により増収増益を計画

単位:百万円	2018年12月期 (実績)	2019年12月期 (予想)	2018年比
売上高	12,738	14,015	+10.0%
営業利益	1,408	1,550	+10.0%
経常利益	1,490	1,550	+ 4.0%
親会社帰属利益	956	1,010	+ 5.6%
1株当たり 純利益(円)	83.04	87.68	-



## 2019年 通期業績予想〔セグメント別〕

- セキュリティ事業は大手顧客を中心に国内外で増収増益計画
- 引き続き、IoTインフラおよびIoTセキュリティ分野へ投資継続

### 売上高

単位： 百万円	2018年 12月期 (実績)	2019年 12月期 (予想)	2018年比
クラウド・ ホスティング	5,578	<b>5,580</b>	+0.0%
セキュリティ	6,408	<b>7,332</b>	+14.4%
ソリューション	1,033	<b>1,303</b>	+26.1%
消去又は 全社	△281	△ <b>200</b>	—
連結計	12,738	<b>14,015</b>	+10.0%

### 営業利益

単位： 百万円	2018年 12月期 (実績)	2019年 12月期 (予想)	2018年比
クラウド・ ホスティング	301	<b>302</b>	+0.3%
セキュリティ	1,463	<b>1,576</b>	+7.7%
ソリューション	△364	△ <b>328</b>	—
調整	+ 7	<b>0</b>	—
連結計	1,408	<b>1,550</b>	+10.0%

### 3. 事業概況

クラウド・ホスティング事業

安全なクラウド基盤の提供

# マネージドサービス「CloudCREW」を開始

クラウド運用の課題を解決し最適化を実現

1  
STOP

クラウド導入支援から運用までワンストップでおまかせ



24時間365日、安定稼働を支える技術力



クラウドのプロフェッショナルに任せる安心感

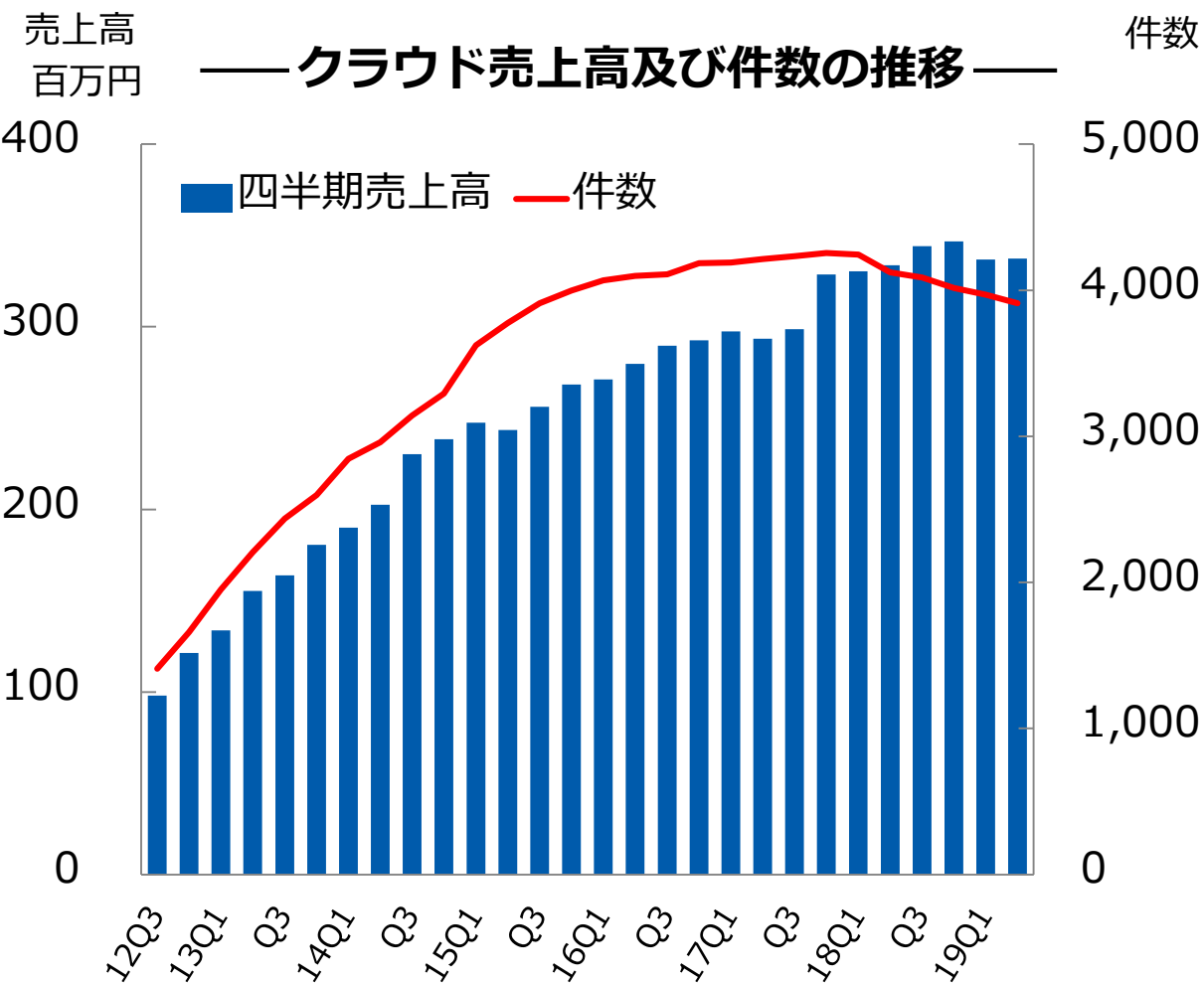
## CloudCREWの概要

クラウドの導入支援および設計・構築、監視・運用、請求などの代行を行うサービス  
クラウド・ホスティング事業における豊富な実績と高い技術力を生かしてクラウド運用の課題を解決し、運用負荷の軽減とコスト削減を図ります。

【詳細URL】 <https://managed.gmocloud.com/>

# クラウドサービス売上高と件数推移

一部商材の提供終了により件数減少するも売上は堅調に推移



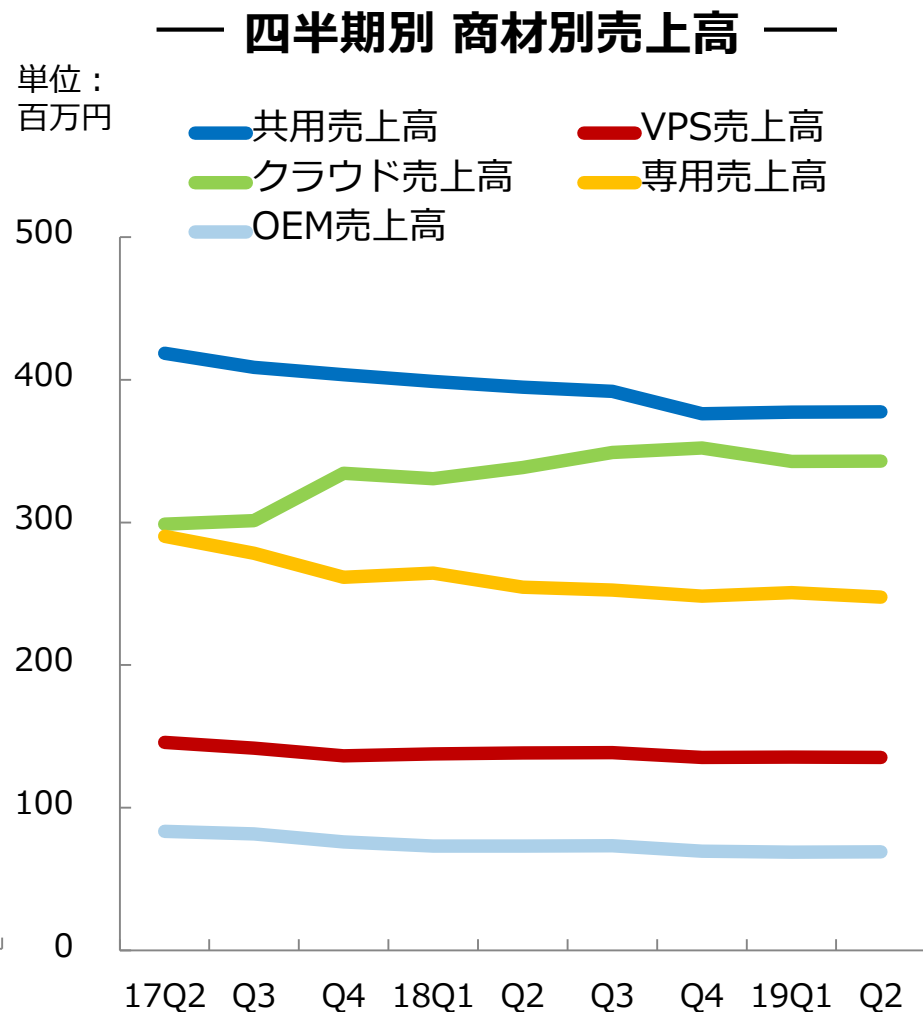
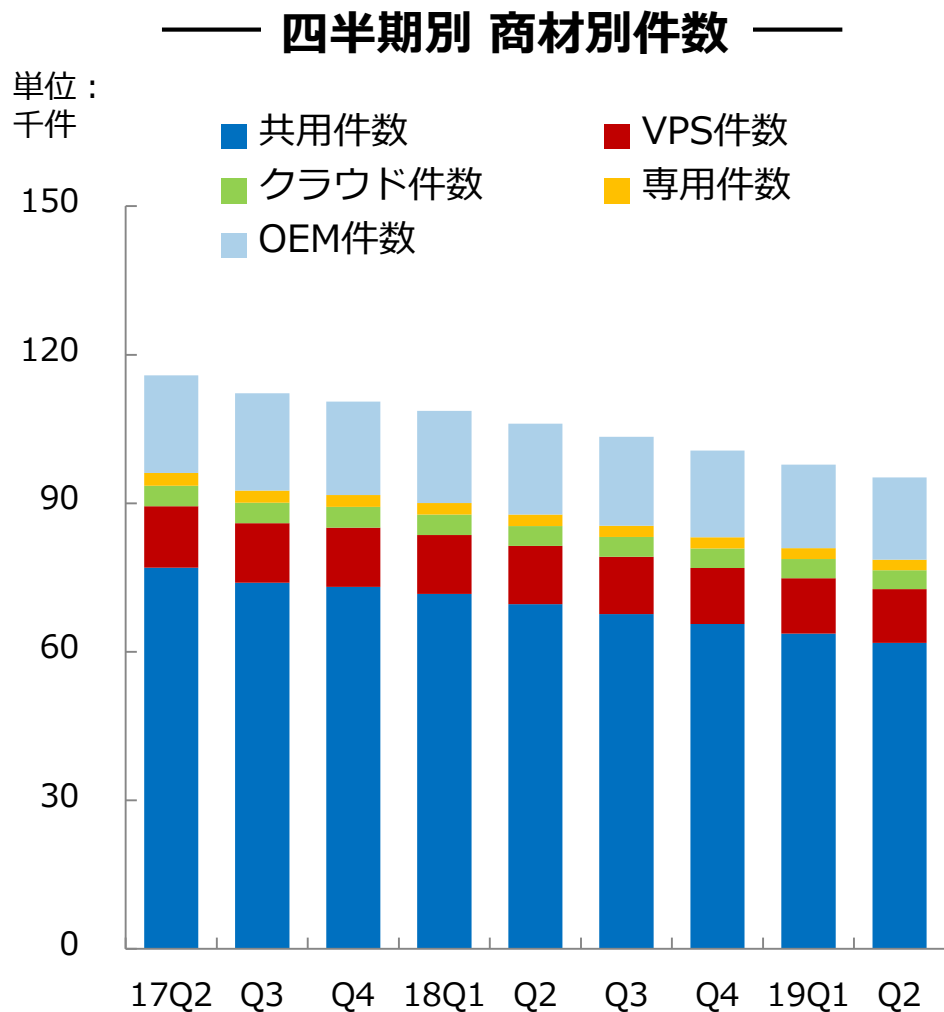
2019年第2四半期

売上高：337百万円

前年同期比：+1.1%

# クラウド・ホスティング事業 商材別実績推移

提供サービスの統廃合継続。件数は減少したものの収益改善



### 3. 事業概況

セキュリティ事業

電子認証により、通信（取引）を守る

# 「トラスト・ログイン byGMO」新モバイルアプリをリリース

ブラウザ上だけでなく各種アプリのシングルサインオン※に対応  
モバイル端末からのトラスト・ログイン利用の利便性が向上



## 新モバイルアプリの概要

これまでは、ブラウザ上でのサービスログイン時のID/パスワードの自動入力のみに対応となっていました。新モバイルアプリではOS搭載の“パスワード自動入力”に対応。これにより、ブラウザ上だけでなく各種アプリのシングルサインオンも可能となります。

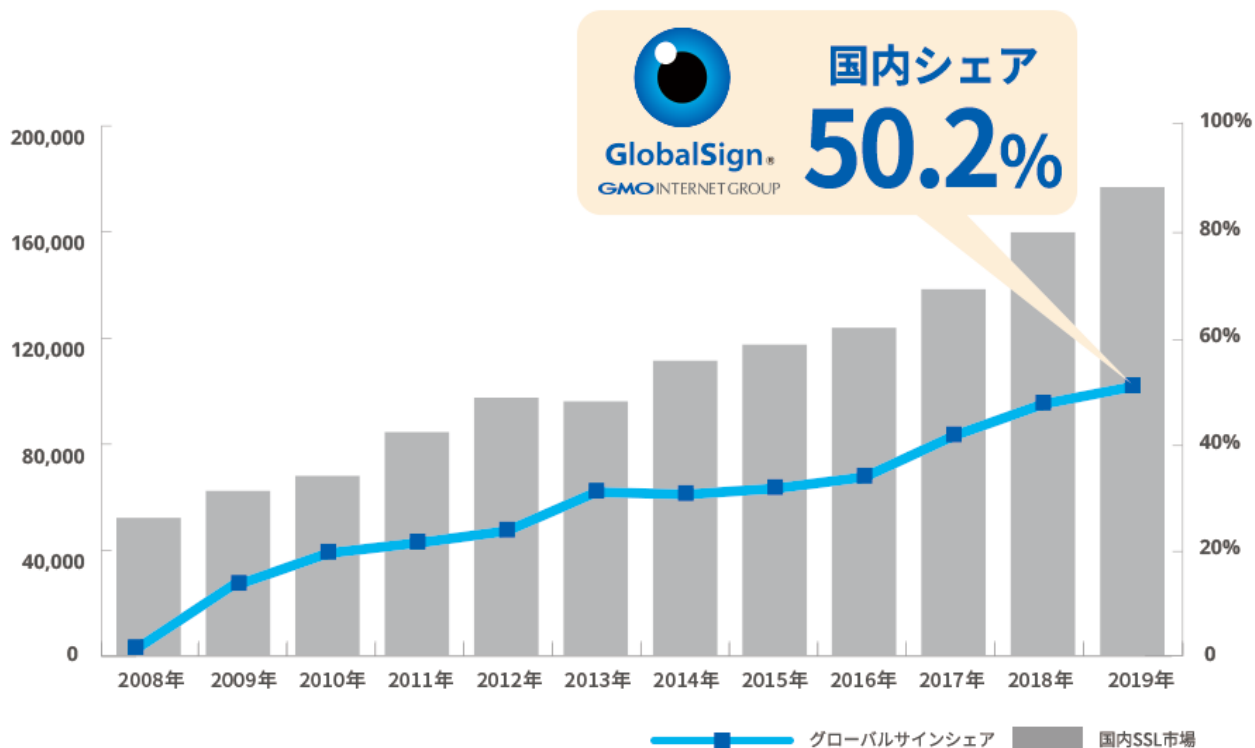
※ シングルサインオン: 1つのIDとパスワードを入力し、複数のWebサービスやアプリケーションにログインする仕組み

【詳細URL】 [https://ir.gmocloud.com/news/press/globalsign/190521\\_2987.html](https://ir.gmocloud.com/news/press/globalsign/190521_2987.html)

# SSLサーバ証明書の国内市場においてシェア50%を突破

2012年に国内シェアNo. 1 を獲得して以来  
順調にシェアを拡大。6月4日をもって50%突破

現在、日本だけでなく  
ベルギー、デンマーク、  
トルコ、ロシア、ブラ  
ジル、ドイツ、韓国な  
ど海外12か国でもシェ  
アNo.1※



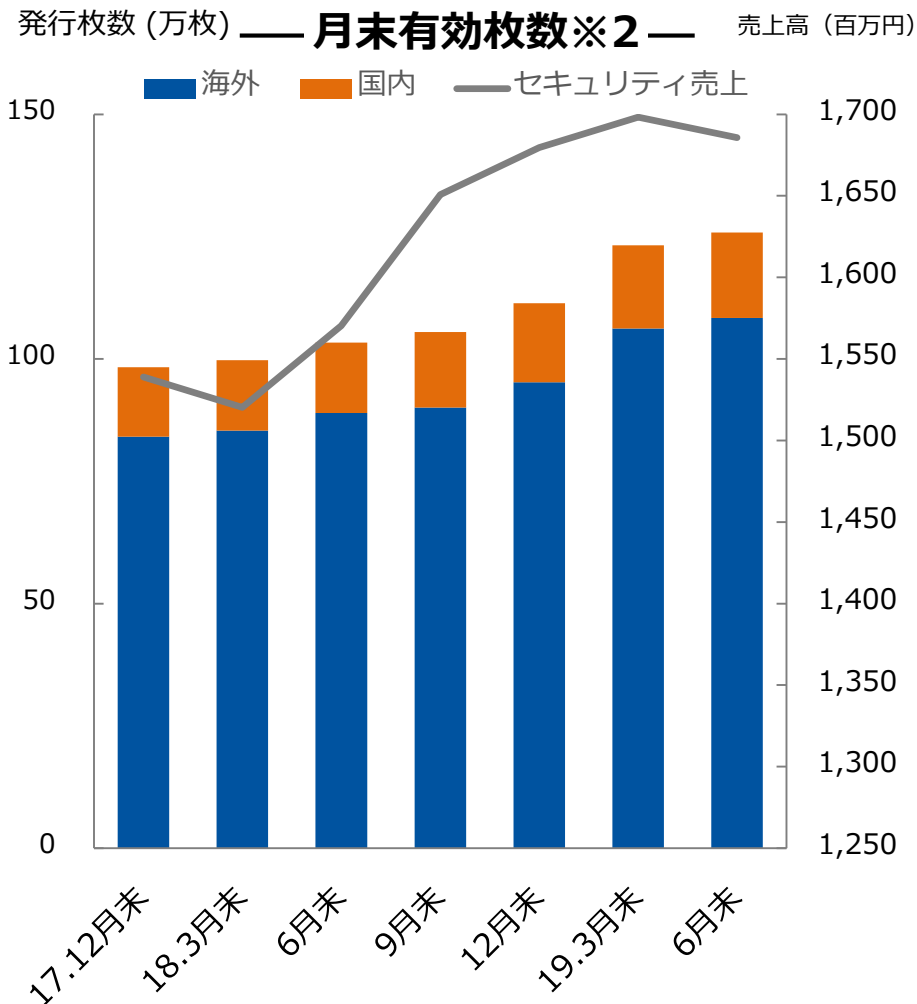
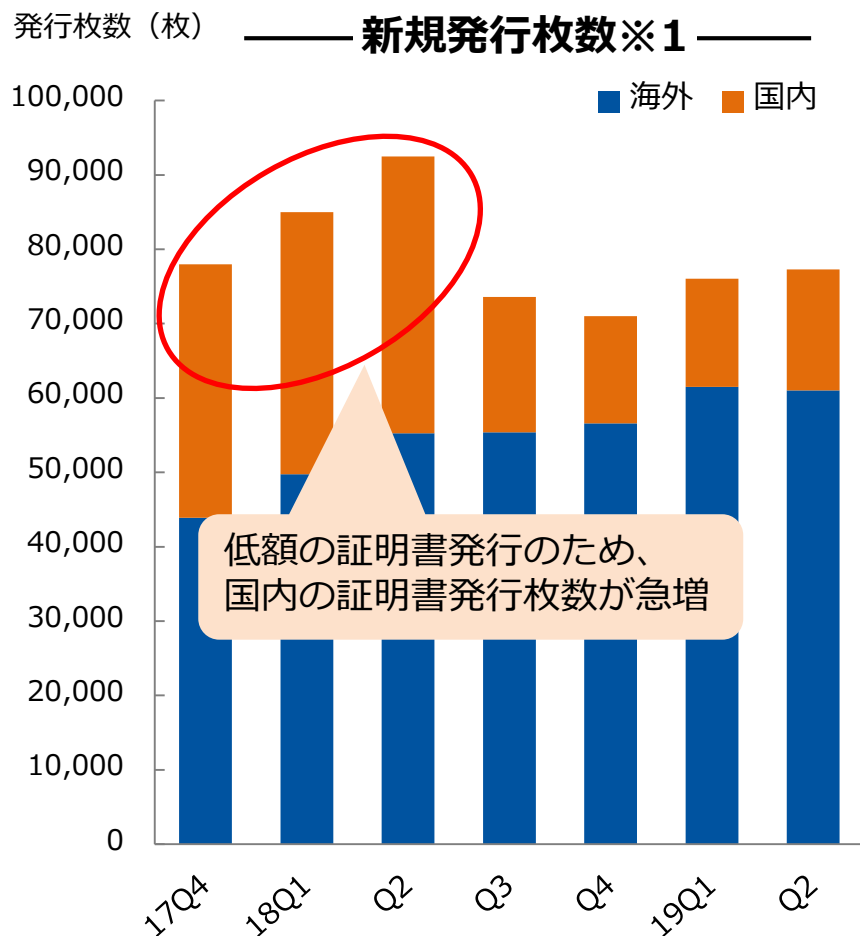
※出典：Netcraft社「Netcraft SSL Survey」

【詳細URL】 [https://ir.gmocloud.com/news/press/globalsign/190703\\_2994.html](https://ir.gmocloud.com/news/press/globalsign/190703_2994.html)



# SSL証明書発行枚数

国内およびアジアを中心に海外市場においても堅調に売上成長続く



※1 枚数無制限契約及び毎月大量発行の枚数を調整した数値

※2 有効枚数とは、現在電子証明書の有効期限内であり実際に利用されているアクティブな枚数

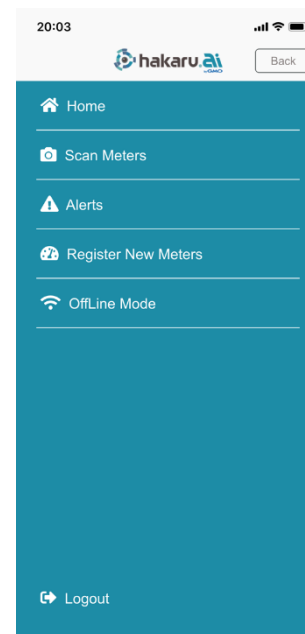
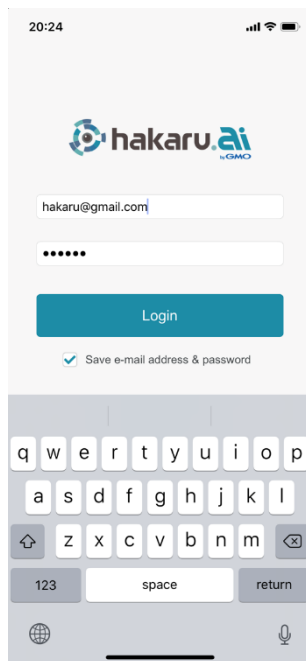
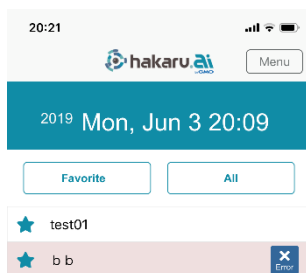
### 3. 事業概況

ソリューション事業

プラットフォーム IoTソリューションサービスの提供

# IoTの窓口 byGMO トピックス

## 「hakaru.ai byGMO」 海外拠点向けに英語版を提供開始



「hakaru.ai」は、製造業の現場でのメーター点検業務の効率化に役立つツールとして提供を開始して以来、お客様の声を拾い上げ、サービスの利便性向上に努めています。この度、海外展開を行っている日本企業の需要に向け、英語での表示を可能にしました。

【詳細URL】 [https://ir.gmocloud.com/news/press/gmo-hs/190618\\_2993.html](https://ir.gmocloud.com/news/press/gmo-hs/190618_2993.html)

## IoTの窓口 byGMO トピックス

## スーパーマーケットの立寄率をAI分析の導入で見える化

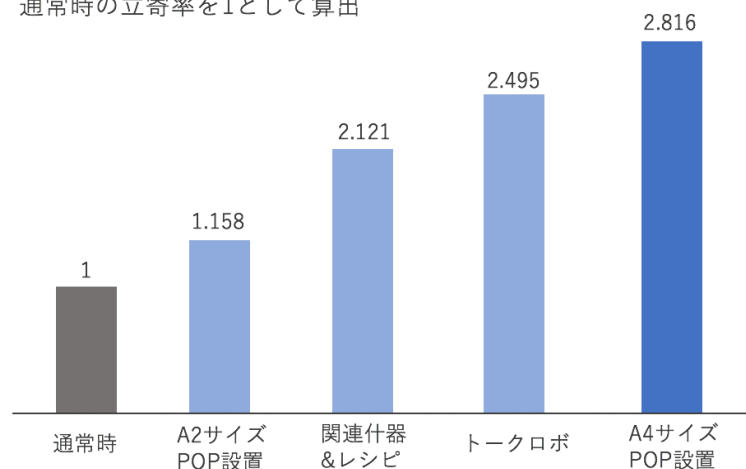


Diversity Insight for Retail

byGMO



AI分析による各種販促アイテム別の1日あたりの立寄率  
通常時の立寄率を1として算出



- 小売店舗の販促支援を行うアルファ社と共同で、Diversity Insight for RetailのAI分析により店内の特設コーナー(バナナを販売するコーナー)における販促POPの効果検証を実施
- これまでPOSレジ等では分からなかった、各種販促アイテム設置による売場への立寄率※を定量的なデータとして確認できた。

※バナナ売場にて3秒以上とどまった人を立ち寄りとして定義して立寄率を算出

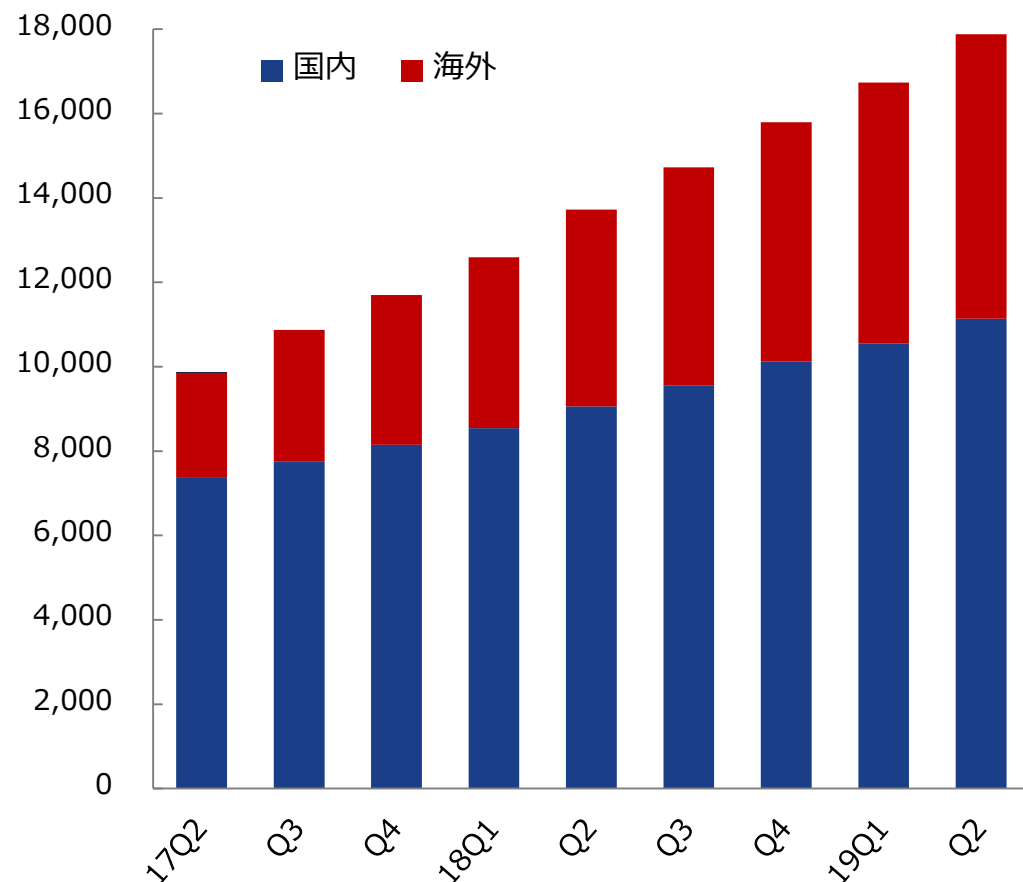
【詳細URL】 [https://ir.gmocloud.com/news/press/gmo-hs/190605\\_2992.html](https://ir.gmocloud.com/news/press/gmo-hs/190605_2992.html)

## 韓国、台湾で積極的にイベント出展し普及促進を強化

### — アカウント数推移 —

### — トピックス —

累計数(人)



UniteSeoul 2019

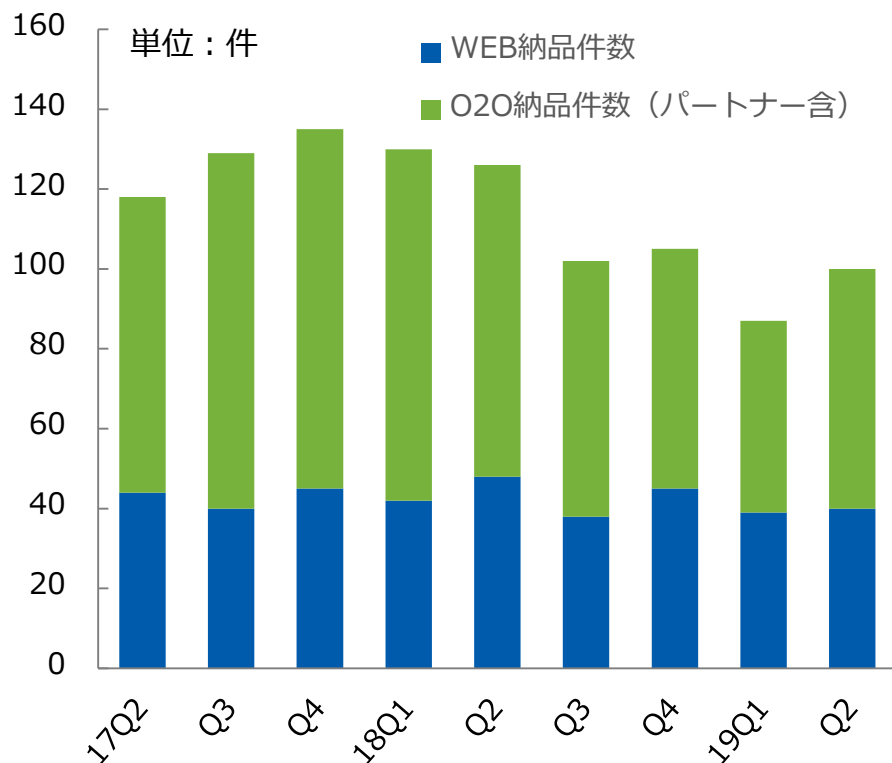


Photon Developer Meetup

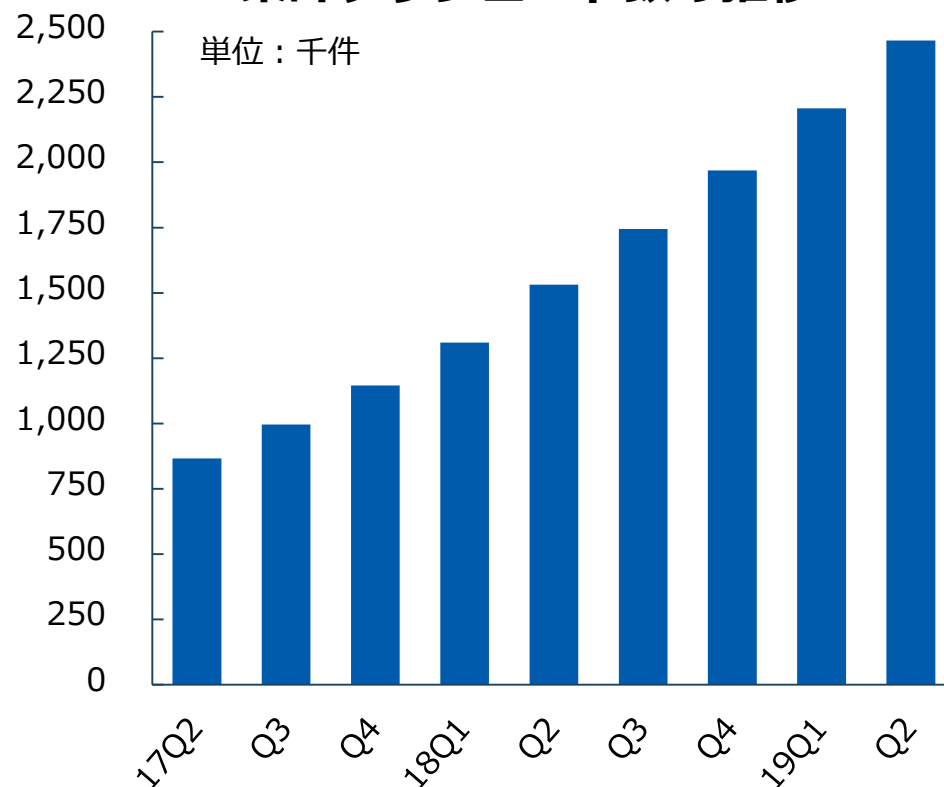
【詳細URL】 <https://www.photonengine.com/ja-JP/Photon>

## 6月に650店舗超の大型案件を獲得

— 納品件数の推移 —



— 累計ダウンロード数の推移 —



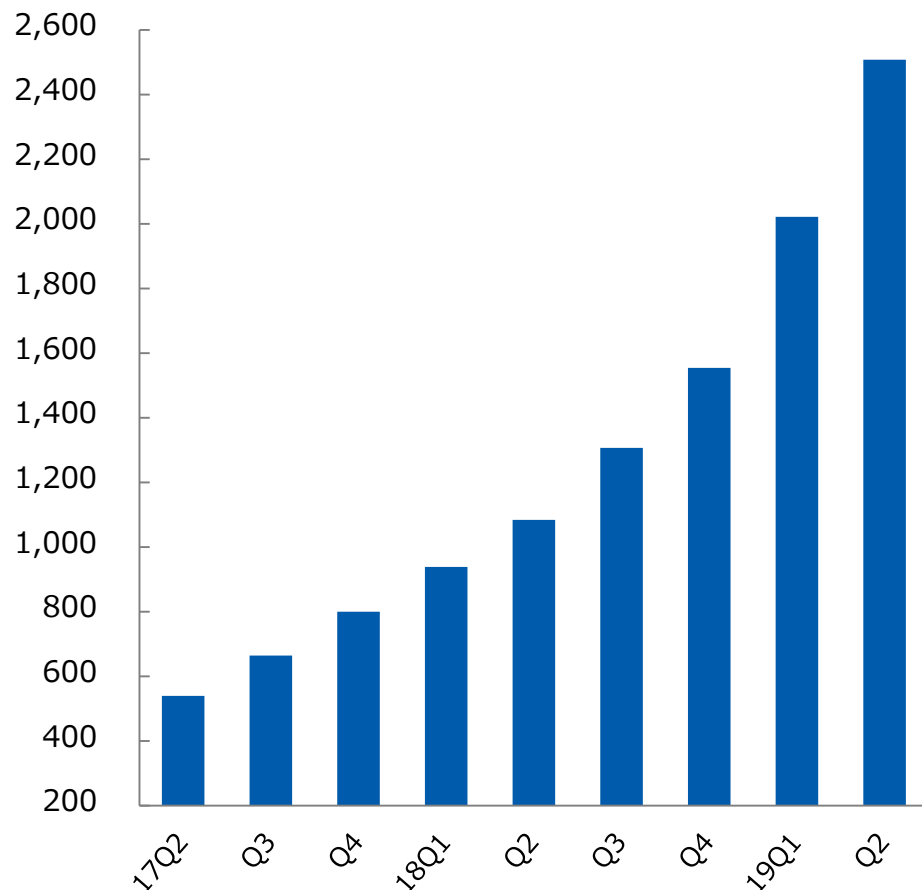
※O2O: オンラインとオフラインの購買活動が連携し合う、またはオンラインでの活動が実店舗の購買に影響を及ぼすサービスのこと

【詳細URL】 <https://gmo-app.jp>

## 導入企業数が順調に増加し業績も好調に推移

### — アカウント数推移 —

累計数(件)



### —— トピックス ——

- GMO電子契約Agreeの対応言語を追加し、海外でのサービス展開を開始。まずは英語版サービスを、インドの現地企業へ提供。
- 今後、タイでのサービス展開も予定。
- 不動産や採用業務などの業務の完全電子化を促進するための新機能を順次追加。

【詳細URL】 [https://ir.gmocloud.com/news/press/gmo-hs/190509\\_2980.html](https://ir.gmocloud.com/news/press/gmo-hs/190509_2980.html)



GMOクラウドグループは  
One GMO CLOUD へ

当資料に関するお問合せ先

GMOクラウド株式会社 社長室 IR担当 中、松下

TEL : 03-6415-6100

E-mail : [ir@gmocloud.com](mailto:ir@gmocloud.com) または <https://ir.gmocloud.com/contact/ir/> よりお問合せください。